



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 愛知銀行
コード番号 8527 URL <http://www.aichibank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長

(氏名) 幅 健三

(氏名) 早川 潤

TEL 052-251-3211

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	39,492	△9.7	6,348	45.1	3,533	46.1
22年3月期第3四半期	43,740	△6.9	4,374	52.3	2,419	175.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	324.80	—
22年3月期第3四半期	222.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	2,696,025	166,193	6.1	14,995.57
22年3月期	2,607,109	165,571	6.2	14,942.58

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 163,111百万円 22年3月期 162,564百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
23年3月期	—	45.00	—		
23年3月期 (予想)				35.00	80.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

(注)23年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,700	△4.8	7,400	△4.4	4,300	△0.5	395.25

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 10,943,240株 22年3月期 10,943,240株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 65,958株 22年3月期 63,935株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 10,878,581株 22年3月期3Q 10,881,246株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	4
(第3四半期連結累計期間)	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5
4. 平成23年3月期第3四半期決算 説明資料	6
(1) 第3四半期の損益状況 (単体)	6
(2) 「金融再生法ベースのカテゴリによる開示」 (単体)	7
(3) 自己資本比率 (国内基準)	7
(4) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)	8
(5) 預金等・貸出金の残高 (単体)	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当行グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金の減少に伴い資金運用収益が減少したこと、また、株式等売却益の減少等により、前年同期比42億47百万円減収の394億92百万円となりました。一方、経常費用は、貸倒引当金繰入額の減少等により、前年同期比62億21百万円減少し331億44百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比19億73百万円増益の63億48百万円、四半期純利益は前年同期比11億14百万円増益の35億33百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態につきまして、総資産は、前連結会計年度末比889億円増加し2兆6,960億円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比6億円増加し1,661億円となりました。

主要勘定のうち、貸出金につきましては、県内の中小企業向け貸出及び住宅ローンを積極的に推進した結果、前連結会計年度末比423億円増加し1兆6,115億円となりました。預金につきましては、個人預金の積極的な取り入れ等により、前連結会計年度末比1,003億円増加し2兆4,490億円となりました。また、有価証券につきましては、前連結会計年度末比530億円増加し9,028億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました予想数値から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

1. 定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 貸倒引当金は、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。
3. 法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。
4. 繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。
5. 連結会社相互間の債権債務につきましては、合理的な範囲内で、当該債権の額と債務の額の差異の調整を行わずに相殺消去しております。

連結会社相互間の取引につきましては、取引金額の差異を合理的な方法により相殺消去しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、経常利益は2百万円減少、税金等調整前四半期純利益は101百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は117百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	66,176	68,736
コールローン及び買入手形	34,069	33,651
商品有価証券	265	305
有価証券	902,872	849,793
投資損失引当金	△17	△21
貸出金	1,611,591	1,569,236
外国為替	1,560	1,608
その他資産	33,198	35,002
有形固定資産	33,329	33,270
無形固定資産	731	633
繰延税金資産	763	590
支払承諾見返	22,447	24,930
貸倒引当金	△10,962	△10,628
資産の部合計	2,696,025	2,607,109
負債の部		
預金	2,449,021	2,348,653
コールマネー及び売渡手形	896	—
債券貸借取引受入担保金	15,724	20,353
借入金	11,180	6,590
外国為替	396	380
その他負債	12,333	21,899
賞与引当金	—	673
役員賞与引当金	—	31
退職給付引当金	3,254	3,137
役員退職慰労引当金	641	571
睡眠預金払戻損失引当金	229	255
偶発損失引当金	1,227	1,236
繰延税金負債	5,799	6,132
再評価に係る繰延税金負債	6,681	6,690
支払承諾	22,447	24,930
負債の部合計	2,529,832	2,441,538
純資産の部		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	13,884	13,885
利益剰余金	106,540	103,863
自己株式	△603	△592
株主資本合計	137,821	135,156
その他有価証券評価差額金	17,919	20,025
土地再評価差額金	7,369	7,382
評価・換算差額等合計	25,289	27,408
少数株主持分	3,082	3,006
純資産の部合計	166,193	165,571
負債及び純資産の部合計	2,696,025	2,607,109

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
経常収益	43,740	39,492
資金運用収益	29,781	28,553
(うち貸出金利息)	20,353	19,677
(うち有価証券利息配当金)	9,269	8,732
役務取引等収益	9,546	9,093
その他業務収益	1,998	1,367
その他経常収益	2,413	478
経常費用	39,365	33,144
資金調達費用	3,606	2,679
(うち預金利息)	3,497	2,603
役務取引等費用	6,092	5,583
その他業務費用	953	821
営業経費	21,656	21,813
その他経常費用	7,056	2,245
経常利益	4,374	6,348
特別利益	3	12
償却債権取立益	3	3
偶発損失引当金戻入益	—	9
特別損失	255	189
固定資産処分損	55	37
減損損失	199	52
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		99
税金等調整前四半期純利益	4,122	6,172
法人税、住民税及び事業税	2,679	2,202
法人税等調整額	△1,041	359
法人税等合計	1,638	2,562
少数株主損益調整前四半期純利益		3,609
少数株主利益	64	76
四半期純利益	2,419	3,533

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 平成23年3月期第3四半期決算 説明資料

(1) 第3四半期の損益状況 (単体)

科 目		平成22年3月期 第3四半期 累計期間	平成23年3月期 第3四半期 累計期間	増減
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
業務粗利益	1	29,502	28,739	△762
資金利益	2	26,174	25,827	△347
役務取引等利益	3	2,285	2,370	85
その他業務利益	4	1,042	542	△499
経費 (除く臨時処理分)	5	20,177	20,580	403
人件費	6	10,977	11,106	128
物件費	7	8,144	8,403	258
税金	8	1,054	1,070	15
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	9	9,324	8,159	△1,165
コア業務純益	10	8,505	7,847	△657
一般貸倒引当金繰入額	11	563	154	△409
業務純益	12	8,761	8,004	△756
うち国債等債券損益 (5勘定戻)	13	819	311	△508
臨時損益	14	△4,725	△2,050	2,674
うち株式等損益 (3勘定戻)	15	70	△473	△543
うち不良債権処理額	16	3,377	183	△3,194
経常利益	17	4,035	5,953	1,917
特別損益	18	△254	△171	83
税引前四半期純利益	19	3,781	5,782	2,000
法人税、住民税及び事業税	20	2,304	1,854	△449
法人税等調整額	21	△834	535	1,370
法人税等合計	22	1,469	2,389	920
四半期純利益	23	2,311	3,392	1,080

(2) 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」 (単体)

(単位：百万円、%)

(参考)

	平成22年3月末	平成22年12月末	平成21年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,857	9,447	12,576
危険債権	52,611	63,286	56,185
要管理債権	7,041	8,880	7,954
小計 A	69,510	81,613	76,716
正常債権	1,544,898	1,573,227	1,548,200
合計 B	1,614,408	1,654,841	1,624,917
総与信に占める開示額の割合 A/B	4.30	4.93	4.72

(注) 上記の四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、同計数は、当行の定める自己査定基準に基づく平成22年12月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。

(3) 自己資本比率 (国内基準)

(単体)

	平成23年3月末 (予想値)
単体自己資本比率	11.5 % 程度
単体Tier1比率	10.8 % 程度

(参考)

	平成22年9月末 (実績)
単体自己資本比率	11.48 %
単体Tier1比率	10.75 %

(連結)

	平成22年3月末 (予想値)
連結自己資本比率	11.9 % 程度
連結Tier1比率	11.1 % 程度

(参考)

	平成22年9月末 (実績)
連結自己資本比率	11.89 %
連結Tier1比率	11.13 %

(注) 上記単体及び連結予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

(単位：百万円)

(参考)

	平成22年3月末				平成22年12月末				平成21年12月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他 有価証券	842,494	32,444	35,382	2,938	896,288	29,459	32,356	2,897	811,082	30,781	34,538	3,756
株式	72,116	24,266	25,130	863	66,291	17,131	18,767	1,635	68,423	21,686	23,040	1,354
債券	683,037	7,931	9,383	1,452	750,627	11,798	12,641	842	643,439	9,238	10,670	1,431
外国債券	85,333	117	662	544	71,033	300	591	290	96,445	△142	642	784
その他	2,006	129	206	77	8,336	227	356	128	2,773	△1	184	186

(注) なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

(参考)

	平成22年3月末				平成22年12月末				平成21年12月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の 債券	4,653	92	92	—	4,003	43	43	—	6,379	114	114	—

(5) 預金等・貸出金の残高 (単体)

(単位：百万円)

(参考)

	平成22年3月末	平成22年12月末	平成21年12月末
	預金等	2,349,965	2,450,975
個人預金	1,812,016	1,879,554	1,818,417
貸出金	1,571,692	1,613,896	1,580,172
うち消費者ローン	430,110	438,163	427,251
うち住宅ローン	419,050	428,312	415,764

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

以 上